

## 番組審議会

開催年月日	2025年（令和7年）12月4日
開催場所	株式会社 AXN エンタainment 恵比寿オフィス会議室
出席者	重村一、明智恵子、内山隆、大宅映子、中山雅葉子、脇田直枝（計6名）
審議企画	編成企画 「【特集】今一番熱いスター、ワン・イーボー（王一博）」
放送日程	2025年10月24日（金）、リピート放送 10月28日（火）～30日（木）
企画内容	<p>ザ・シネマでは、これまで香港映画に焦点を当てた「香港シネマ大全」や、近年アカデミー賞をはじめ世界的な評価が高まっている韓国映画を紹介する「Kシネマガイド」を定期的に編成して参りました。</p> <p>この度の編成では、近年注目度の高い中華圏にも光を当てたいと考え、現在を象徴する中国のスターである「ワン・イーボー（王一博）」を特集しました。</p> <p>特集で編成した4作品は、いずれもCSベーシック初放送、または国内テレビ初放送となり、視聴者のみならずJCOM、スカパー！などのプラットフォームからも大いに注目を集めることができました。</p> <p>また、並行して実施したグッズプレゼントキャンペーンを通じて、SNSなどでは熱心なファンからの反響が大きく、加入促進の観点からも新たな知見を得られる結果となりました。</p> <p>特集編成の作品から1作品「無名」をご視聴頂きました。</p>
審議概要	<p><b>各委員からのご意見まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>現代の中国やアジア圏の若手男性俳優のルックスが韓流スターに似てきており、これが日本での人気にもつながっている可能性がある</li><li>最初のシーンの映像美は優れていたが、複雑な構成（30年代と現代の繰り返し）のため、ストーリー全体の把握に苦労した。2回鑑賞してやっと理解できた</li><li>ワン・イーボーさんはシャオ・ジャンさんと共に人気があり、中国のイケメン俳優が時期的に連なっている流れがあり、本企画はその先駆けになったのではないか</li><li>撮影の仕方は好感を持てたが、やはり最初の設定が分かりにくく、特に中国以外の外国人には理解しにくい構成だと感じた</li><li>俳優の人気に関して、日本では一番数字を持っている目黒蓮さんがフォロワー数300万人であるのに対し、ワン・イーボーさんは370万人レベルである。ハリウッド映画の勢いがない中、アジア作品を取り上げたのは良い選択だったと考える</li><li>トニー・レオンさんの新作もあり、アジア作品全体に良い流れが来ている可能性がある</li></ul>